



### オーストラリアの弟

蒲郡中 竹内 慧旗

僕のホストはアイダンという名の、ひとつ年下の男の子でした。僕は彼と5日間のステイの間、折り紙をして交流しました。彼は折り紙が初めてだったので一緒に毎日練習しました。最後の交歓会の時、誰よりも上手に鶴を折れるようになっていたのでとてもうれしく思いました。まるで本当の兄弟のように仲良くなることができました。これからも連絡を取り合っていきたいです。

### 派遣団最高!

大塚中 小林 主典

僕がスタディツアーに参加して思ったことは「このメンバーでよかった」ということです。なぜかというと、8泊9日で14人の絆が深まったからです。特に僕は、8日目の夕食で、ひとつのテーブルを全員が囲んだときの雰囲気が好きでした。みんなの顔が見られたのがとてもよかったです。そして1人ひとりがみんなのことを気遣って食べていたのもよかったです。僕はそんな派遣団の仲間が大好きです。

### オーストラリアの友だち

蒲郡中 伴 朋美

今回、オーストラリアに行って印象に残ったこと。それは、生徒が各自で時間割を選択し、学校生活を送っていたことです。日本語、インドネシア語、韓国語などの授業もあり、まるで日本の大学みたいでした。また、ホストファミリーの友だちとランチを食べたり、スポーツをしたりしたことは強く思い出に残っています。言語が違っていても友だちはできると体感できたホームステイができました。

# オーストラリア

中学生海外派遣事業が、10月16日～24日の8泊9日の日程で行われました。

市内の7中学校14人の生徒がオーストラリアを訪問し、ビクトリア州ウドンガの中学生との交流やホームステイを通して、海外の生活、文化、風土に対する理解を深めました。

学校教育課 ☎ 66♦1165

### スタディツアーを終えて

三谷中 磯貝 悟志

僕は、オーストラリアで積極的に学ぶことができたと思います。ホームステイでは、英語が聞き取れないときもありましたが、ジェスチャーをしたり、知っている単語を並べたりして、たくさん話すことができました。みんなフレンドリーで、日本語であいさつをしてくれることもあり、楽しい交流になりました。メンバーが団結し、素晴らしい旅にすることができて良かったです。

### 出会いに感謝

塩津中 柴田 泰来

僕たち14人は、6回の研修会を経て、オーストラリアへ出発しました。このツアーで、多くの方々との出会いがありました。先生方、添乗員さん、現地のガイドの方、ホストファミリー、ウドンガの学校の生徒や先生たち、そして、13人の仲間たち。同じ時間を過ごし、日本では経験できない思い出ができ、この出会いに感謝し、大切にしていきたいです。

### 9日間の成長

三谷中 権田 帆南

不安と緊張でいっぱいだった私にホストファミリーはわかりやすいように工夫して話しかけてくれました。最初は知っている単語とジェスチャーで伝えていたけれど、だんだん簡単な英会話ができるようになりました。特に、ピザを作っているとき「May I help you?」と初めて話しかけたことにホストマザーがとても喜んでくれたのが印象に残っています。この海外派遣事業に関わった方々に心から感謝しています。

### 挑戦という心

塩津中 吉見 有優菜

私が初めて外国に来たと感じたのは3日目のホームステイでした。通じるのは英語だけ。やっていけるのかと不安を抱えながらも、すぐにホストファミリーと話さなければなりません。英語が分からない時もあったけど、積極的に挑戦し、聞き返したり、尋ねたりしていくと「意外と話せる」と感じるようになりました。やっぱり挑戦することが大事だなと思うとともに、うまく話せなかった私に優しく話してくれたホストファミリーの温かさを感じました。

